

# ◆学校自己評価 結果◆

## 〔Ⅰ〕校 訓

### 「敬 神 愛 人」

本校は津軽藩の藩校であった稽古館を継承し、廃藩置県に伴い私立学校東奥義塾として、1872（明治5）年に開学された。当初より英学が奨励され、外国人教師を雇用して教育を進めたが、この中で聖書が学ばれ、キリスト教が伝播された。

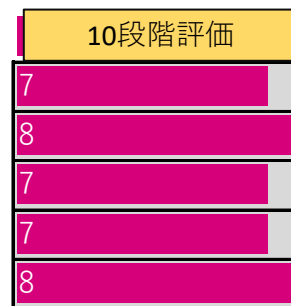
1874（明治7）年に着任し、後に塾長となった本多庸一は本校の教育理念を「敬神愛人」と表した。以後、今日まで幾多の変遷を経てきたが、本校はこの精神を堅持し、これを校訓として掲げるキリスト教主義学校である。

「敬神」は『主を畏れることは、知識の初めである。』（箴言1章7節）に基づくもので、神を敬い、神の意志に服従することを人間形成の根本としている。従って、このことの具現のため、毎日の礼拝が行なわれている。礼拝は本校教育の一部というよりも、むしろ、キリスト教教育の根源としてとらえているのである。

又、『自分自身を愛するように、隣人を愛しなさい。』（マタイによる福音書22章39節）と言われるごとく、隣人（他者）に対する温かい心づかいと、その実践を命じられているものとして、すべての他者に対し、その人権を尊重し、共に生きることに力を注ぐことを教育の理念としているのである。

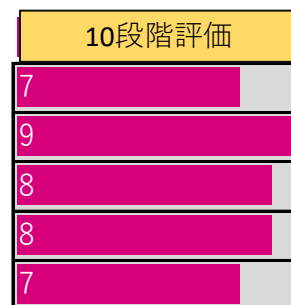
## 〔Ⅱ〕教育目標

1. 被造物としての限界を知り、大いなる存在に畏敬をもって生きる人間の育成。
2. 他者に対する温かい心もち、喜んで自らの力を生かす努力をする人間の育成。
3. 真理を愛し、責任感もち、たえず自らの向上を目指す人間の育成。
4. 自ら考え、自ら判断し、確信したことを勇気をもって行動に移せる人間の育成。
5. 感謝の心をもって生きる人間の育成。



## 〔Ⅲ〕努力目標

1. 建学の精神を高揚する。
2. 礼拝秩序の確立の徹底を図る。
3. 学習指導に当たって常に創意工夫する。
4. 生活指導の立場から身近な課題を定めて集中的に努力する。
5. 5. 社会奉仕の精神涵養に努力する。



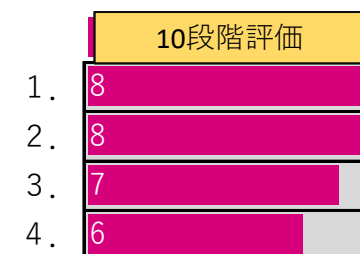
## 〔IV〕本年度の重点目標と具体的計画

### ① キリスト教精神（正義と愛）による人格教育の徹底に努める。

#### 具体的計画

##### 宗教部

1. 豊かな礼拝の実施に努め、礼拝を進んで守るように指導し、月に二度程度、外部の講師を依頼する。
2. 宗教教育強調週間等、特別礼拝を計画的に実施し、キリスト教への理解を深め、自己の使命を自覚させる。
3. 東奥聖社を中心に、平和の学習等のフィールドワークを計画・実施する。
4. 月例ボランティアを計画的に実施し、奉仕の精神を涵養する。



### ② 学習指導の創意工夫による学習意欲の喚起を目指し、明確な学習目標を掲げ、生徒の現状に相応しい学力の向上に努め、自ら学び、自ら進路を切り開こうとする姿勢を育てる。

#### 具体的計画

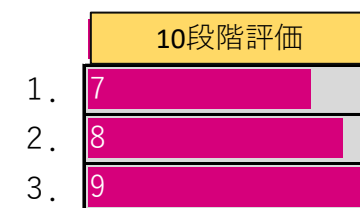
##### 教務部

1. 教職員に学校業務の役割が明確に伝わるように、わかり易い実施計画の作成に努める。
2. 授業時間の確保のため、長期休暇、学校行事等の設定に検討を加え、改善できる点について提言をまとめる。
3. 指導方法の改善を図るため、改善できる点について提言をまとめる。
4. 適切な指導ができるように、生徒の学業成績と出席状況について、教師間の情報の共有化を図る。



##### 聖書科

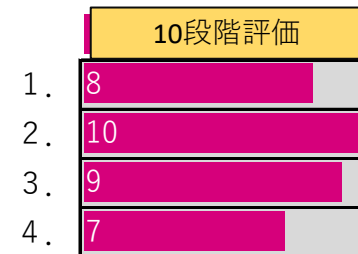
1. 視聴覚教材や資料等を用いて多角的にキリスト教を理解できるように努める。
2. 聖書の基礎的な知識理解を深めるように促し、自ら聖書を読む力を身につける。
3. 聖書に基づいたキリスト教的視点を通じ、現代社会の諸問題について考察する。



## 国語科

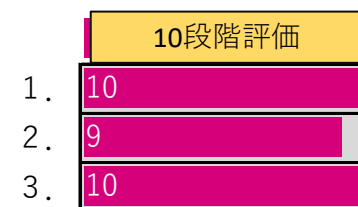
### Bコース

1. 定期的に学習課題を提出させて点検し、継続的な学習の習慣を定着させる。
2. 漢字や国語一般常識などの小問題を、反復的に実施する。
3. 時と場合に応じた言葉遣いができるように、進路指導部・学年と連携を図る。
4. 将来の進路について積極的に情報収集し、収集した知識や自分の意見を文章化できるように、小論文・作文の作法を学ばせる。



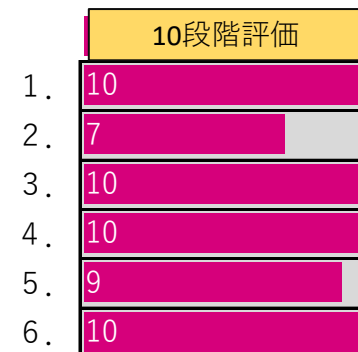
### CⅠ・CⅡコース

1. 漢字・語彙力と論理的思考力を育てる。
2. 自分の考え・意見を、論理的に構成し論述する力を育てる。
3. 古語や古典文法・漢文句法についての知識の定着をはかる。



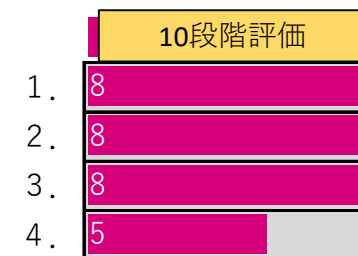
## 地歴科

1. 学習内容の定着のため、授業はもとより、放課後・長期休業中も講習を行い、きめ細かい学習指導を行なう。
2. 地図の見方、考え方を身に付けさせる。
3. 小テストの実施や授業内容の精選を図り、中学校までの既習内容の理解を徹底する。
4. 歴史に対する理解を深めるため、授業中の発問や小テストを実施し、また、資料集の活用で新たな疑問を膨らませる。
5. 定期的に、プリントを多く使用し、問題を解く回数を増やし、定期試験に備えさせ、基礎学力の定着を目指す。
6. わかり易い授業を心がけ、大判の写真教材を利用し、歴史に興味を持たせる。



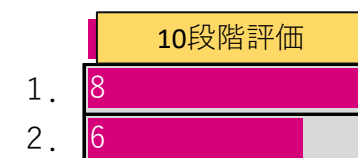
## 公民科

1. 新聞記事やビデオ教材を有効に利用し、時事的・社会的問題を取り上げる。
2. その日に取り扱う授業に即した話題を紹介し、生徒一人一人が社会の一員であることを想起させる。
3. 一週間に一回は新聞記事を取り上げ、生徒に配布、解説する。
4. 4. 視聴覚教材を使用する授業を行ない、将来的な進路・就職について考えさせる。



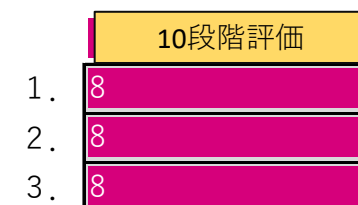
## 数学科

1. 数学的活動を通して、基礎的な知識・技能を定着させ多面的に見る力や論理的に考える力を習得させる。
2. 観察・操作・実験・実習などの外的活動や直観・類推・帰納・演繹などの内的な活動をさせ「数学の楽しさ」を知る。



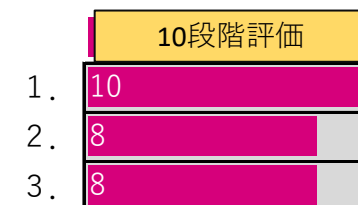
## 理科

1. 実験・観察や視聴覚教材を用いた授業により、生徒の科学に対する興味・関心を深め、探究的な態度を育成する。
2. 基礎学力を向上させるため、分かりやすい授業を研究し、実践する。
3. 1・2の目標を達成するため、実験器具・設備を充実させる。



## 英語科

1. 国際理解教育に重点を置き、国際社会に貢献できる人材の育成を目指す。
2. Bコース  
実用的な英語を強調する授業を行い、日常的に使う基本的な英語力を育成する。实用英検を奨励し、全生徒が卒業までに实用英検3級以上のレベルに到達する事を目指す。
3. C I・C II コース  
生徒それぞれの進路目標に応じた授業展開を行い、国公立大学や難関私立大学に限らず様々な大学入試にも対応できる実践的な英語力を育成する。实用英検を中心に、TOEIC、GTECなどの様々な検定試験にチャレンジし、全生徒が卒業までに实用英検2級程度のレベルに到達することを目指す。



## 保健体育科

1. 義塾体操を初めとする各種の運動を通して基礎体力の向上を図る。
2. 集団行動の指導を通して社会的ルール・マナーの育成を図る。
3. 保健的な知識と健全な健康の価値観を身に付けさせ、健康の保持増進を図る。

### 10段階評価

1. 10
2. 10
3. 10

## 音楽科

1. 教会暦に合わせた讃美歌を抽出し、作品の背景を学習しながら、讃美歌に親しみを持つ。  
毎日の礼拝、特に讃美歌において心が豊かになるように図る。
2. 音楽の基礎的な知識ならびに諸外国の歌曲やオーケストラ作品を学習し、言語活動の充実化を図る。  
また日本の伝統音楽に触れ、自国の文化に誇りを持たせる。

### 10段階評価

1. 10
2. 8

## 美術科

1. 陶芸展の出品を生徒の目標とする。
2. DVD等による鑑賞教育に力を入れる。鑑賞作品や教師が例示するサンプル作品をヒントに自らアレンジし、独自の造形をしている生徒に高い評価を与える。
3. 連続授業を有効に用いて丁寧な清掃を心がける生徒に高い評価を与える。

### 10段階評価

1. 8
2. 8
3. 10

## 書道科

1. 古典の臨書の他に漢字仮名交じりの書にも力を入れ、生徒個々の創作意欲の喚起を促す。
2. 硬筆・毛筆の3級検定試験全員合格を目標に掲げて学ぶことにより、学力の向上を図る。

### 10段階評価

1. 7
2. 8

## 情報科

1. 情報化社会に対応できる基本的な能力を養い、インターネットなどを活用して情報収集し、主体的に情報を発信する態度を育成する。
2. 全商主催の情報処理検定3級程度の知識・技術を習得させ、情報モラルの指導を通して社会生活における正しい知識や実践力を身に付けさせる。

### 10段階評価

1. 8
2. 7

## 家庭科

1. 「自立し、持続可能な社会を作る暮らしの担い手となる」ため、自分の生活を見直し、課題を見つけ、解決できるための実践的な態度を育成する。
2. 学習により知識を深め、さらに実習・体験・課題等で技術の習得を目指す。
3. 実習やグループワークで協調性やコミュニケーション力をつけさせる。

### 10段階評価

- |    |   |
|----|---|
| 1. | 9 |
| 2. | 8 |
| 3. | 8 |

## 国際教養科

1. 校訓「敬神愛人」のもと、異文化に対する理解と自己表現力の向上を探究する意欲に満ちあふれ、国際社会（グローバル）及び地域社会（ローカル）、またはその両方（グローカル）に貢献することができる人材を育成する。
2. プレゼンテーションやディベート・小論文により、自己を表現する能力を育成する。

### 10段階評価

- |    |    |
|----|----|
| 1. | 10 |
| 2. | 10 |

### ③ 基本的生活習慣の定着と生活規律の徹底に努める。

#### 具体的計画

## 生徒指導部

1. 来校者に対する挨拶の徹底を含む、明るく元気な挨拶の励行を促す。
2. 高校生として、公共でのマナー・ルールを指導し、身に着ける。
3. 頭髪・容儀の指導を徹底し、定期的に全体指導と学年別指導を行い、正しい制服の着こなしや清潔な髪型への指導に重点を置く。
4. PTA・警察との連携をとり、祭りや長期休業の街頭巡視を実施し、生徒の安全を図る。

### 10段階評価

- |    |   |
|----|---|
| 1. | 8 |
| 2. | 6 |
| 3. | 7 |
| 4. | 5 |

#### ④ 進路指導の強化に努める。

##### 具体的計画

###### 進路指導部

###### 1. 1学年

自己理解の徹底と将来の目標を探究するため、高校生としての自己を見つめ、将来の夢や希望を考えさせる。自己の能力や適性を考慮し、それを生かす方法を模索し、進路設定のための情報を集め、具体的な検討を重ねさせる。

###### 2. 2学年

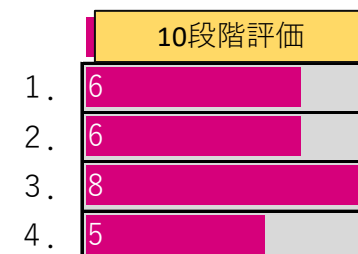
具体的な進路設定と適応能力の充実のため、進路に対する制度や手段を分析し、具体的な進路目標を設定させる。進路に対する適応能力を点検し、希望をより現実的に明確化し、適切な進路対策を立てさせる。

###### 3. 3学年

到達意欲の昂進と進路選択の具体的な対策を進めるため、進学・就職の具体的な対策を整え、進路に対する意欲の向上を図る。試験のための万全の体制を確立し、事前の入念な準備を進めさせる。進路目標の総仕上げと人間的飛躍のための自覚を養う。

###### 4. その他

社会に適切に対応できる個性的、創造的な人材育成とその進路指導体制を確立する。



#### ⑤ 生徒会の自治活動に対する自発性の組織化を目指す。

##### 具体的計画

###### 生徒会指導部

1. 生徒会本部役員を中心に、各学級の評議員・生徒会の係を通じて、生徒全員が生徒会に関連する生徒総会・義塾祭・校内体育大会・生徒会役員選挙等の学校行事を自主的に運営、実行できるように指導する。

2. 校風を高めるため、生徒会役員が率先して挨拶を励行し、容儀を整え、校内外の清掃等を積極的に実践していくよう指導する。

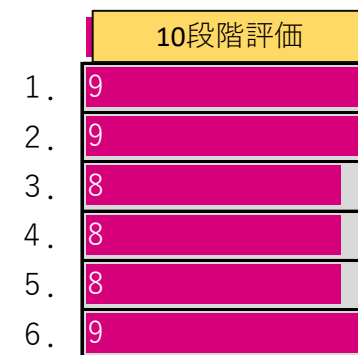


## ⑥ 健康教育と安全教育の充実及び学習環境の整備に努める

### 具体的計画

#### 保健部

1. 校内外の環境整備と整理整頓、清掃の徹底に努める。
2. 生徒の健康に留意し、健康診断、疾病予防に関する適切な処置と事後指導を行う。
3. 健康に関心を持たせ、生徒の自己管理能力を養成し、自ら管理できるように教育指導をする。
4. 安全教育・安全管理の観点から、校内外の傷害防止に努める。
5. 心身に不調のある生徒に対し相談活動を行い、関係職員や保護者等との共通理解のもとに適切な方法を探る。
6. 教職員の健康保持、増進を働きかける。

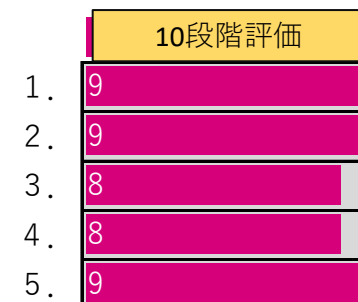


## ⑦ 生徒及び教職員の図書館利用向上を目指し、知識と豊かな心情を養う。

### 具体的計画

#### 図書館

1. 図書環境の整理・美化に努める。
2. 東奥義塾史料や古文書のデジタル化による保存や管理に努める。
3. 「ふみくら賞」を設け、読書意欲の向上を目指す。
4. 図書委員の活発な活動を進め、図書館の広範な利用を図る。
5. 生徒の図書館利用のマナーを身につけさせる。



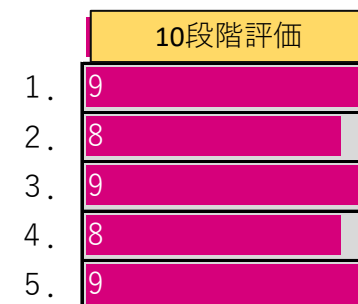


⑧ 広報・渉外活動を通して、外部団体との連携を図り、生徒、父母、同窓生はもちろんのこと、地域中学校に東奥義塾を広く知らしめるように努める。

### 具体的計画

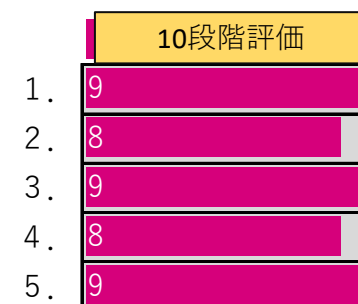
#### 広報部

1. ホームページを月に一回以上更新し、校内の情報を収集して発信する。
2. 教務部と連携をとりながら、中学校訪問用の資料を作成し、訪問計画を立てる。
3. 教務部と連携をとりながら、学校説明会用の資料を作成し、実施計画を立てる。
4. 前年度の反省を踏まえながら、学校見学会の実施計画を立てる。
5. 適宜広報紙を作成し、地域の中学校へは訪問配布し、遠方の中学区へは郵送する。



#### 渉外部

1. 父母と教師の会とともに生徒の健やかな成長を助長し、学校の運営助成に努める。
2. 父母と教師の会とともに教育問題について研究協議し、相互の研鑽と親睦に努める。
3. 事業委員会とともに諸事業の企画・実施に取り組む。
4. 新聞委員会とともにPTA新聞の企画・製作に取り組む。
5. 奉仕委員会とともに学校諸行事の支援に努める。



⑨ 教職員研修計画の充実に努める。

### 具体的計画

#### 教職員校内研修実行委員会

1. 校内研修会を年に1回以上実施し、諸問題の解決に取り組む。
2. 現在問題とされている事項を取り上げ、研修の充実に努める。



### 〔V〕望ましい教師像

1. キリスト教主義による全人教育を理解し、その達成のために協力する人物。
2. 学校の行事、教職員会議等に積極的に参加発言し、生徒指導、学習指導の方法にも積極的に工夫をこらし、絶えざる自己研鑽を心がける人物。
3. 服務規程をよく理解、遵守し、第一に勤務を確実に励行し、服装が端正で言動を慎み、教師全体の和合を図る人物。

